

2025年度のまとめ・2026年度の事業と運動のすすめ方(案)

【2025年度のまとめ】

組織基盤を整え、誰もが健康で安心して住みつづけられるまちづくりをすすめます

1. 健康で安心して暮らせる地域づくり

(1) 組織4課題への取り組み

- ① 組合員の拡大、出資金増やし、班づくり、担い手づくりを推進しました。
 - 組合員 加入 51 人（年間目標の 20.4%） 脱退 59 人 純減 8 人
 - 出資金 増資 180 万円（同 72.0%） 減資 119 万 6 千円 純増 60 万 4 千円
 - 班づくり 2 班増 合計 22 班
 - 担い手づくり 116 人
- ② 生協強化月間では「強化月間がんばろうニュース」を発行し、活動成果を紹介しました。

〔2026年2月28日現在〕

(2) 組合員活動の促進

- ① 医療生協間の交流として、神戸医療生協からたじま医療生協の終活講座に講師として招き、たじま医療生協からは神戸医療生協のそば打ち体験会に講師として参加しました。
- ② 各支部でハイキング、そば打ち体験、バーベキュー大会、名所等の散策、健康講演会、文化作品展などが実施されました。出石支部とやぶ支部は廃村探訪で交流しました。
- ③ 健康まつりは、雨天のため中止となりました。
- ④ グラウンド・ゴルフ大会を春と秋に実施し、延 199 人が参加しました。
- ⑤ 舞鶴方面へのバスツアーを開催し、45 人の参加者が舞鶴引き上げ記念館を見学しました。
- ⑥ 組合員の高齢化がすすむ中、活動に参加しない組合員との交流が課題になっています。
- ⑦ ろっぽう通信については、郵便料金の値上げや手配り担い手不足の状況を踏まえ、希望者にメール配信を行う取り組みを始めるとともに、QRコードでの読み込みも可能にしました。

(3) 健康づくりの推進

- ① 健康チャレンジを実施し、238 人が参加しました。
- ② フレイル予防の取り組みとして、チェアエクササイズや栄養実習を行いました。
- ③ 「まちかど健康チェック」を開催し、健康チェックや健康相談を行いました。
- ④ 「ひょうごまるごと健康チャレンジ」には 66 人が参加しました。

(4) 助け合い・支え合い

- ① ぐらしの助け合いの会「なんなっと」は、車椅子操作研修等により支援者のスキルアップを図りながら、利用者の困りごとの支援を行いました。
- ② ろっぽう診療所への通院が困難な患者のために、送迎ボランティアが送迎を行いました。高齢化等によるスタッフ不足が大きな課題となっています。

(5) 行政への要望活動

- ① やぶ支部と朝来支部は、要望書をそれぞれの市に提出して市長交渉を行いました。朝来支部では、和田山駅前の送迎車待機場整備や小中学校女子トイレへの生理用品配備などの実現につなげました。
- ② 豊岡地域については、組合員のアンケートを実施して、医療生協として要望事項をまとめて豊岡市に要望書を提出し、懇談会を実施しました。

(6) 施設整備

診療所、介護事業所および組合員のつどいの場等の施設整備については、介護事業所と組合員のつどいの場を先行して整備する案を検討しました。

2. 医療と介護の事業基盤を整えた持続可能な事業活動

(1) 各事業所の活動

① ろっぽう診療所

- ア 放射線技師体制の充実によりエコー検査や骨密度検査が増加し外来収益が伸びました。
- イ 兵庫民医連からの医師支援により専門分野の診療体制の維持を図りました。
- ウ 待ち時間が長引く傾向にあり、予約枠のあり方の検討が必要となっています。
- エ 医師対策委員会において、兵庫民医連と連携して後任所長をはじめとする医師確保の取り組みをすすめました。

② 居宅介護支援事業所えがお

職員の退職を受け、2025年10月から事業を休止しました。

③ 訪問看護ステーションえがお

- ア 外部研修や事業所内講習により職員のスキルアップを図り、利用者に寄り添った看護・リハビリを提供しました。
- イ 看護師不足が続く中、業務の見直しや効率化により訪問件数の確保を図りました。
- ウ 支部の健康講演会やなんなつとの車椅子講習会で、職員が講師を務めました。

④ ヘルパーステーションえがお

- ア 認知症介護実践研修を受講して職員のスキルアップを図り、利用者や家族へのサービス向上につなげました。
- イ ヘルパー不足が続く中、利用者のニーズに合わせて勤務時間の見直しを行うなど業務の効率化を図りました。

⑤ 訪問入浴サービスえがお

- ア 看護師不足のため訪問時間枠を縮小しました。
- イ 職員不足の中、法人内事業所の支援体制を整えて安定したサービス提供に努めました。

(2) 経営状況

診療報酬・介護報酬の改定や物価高騰、看護師・ヘルパーの不足などにより事業収益が減少し、厳しい経営状況が続いています。

(3) 連携の推進

豊岡病院をはじめとする医療機関や介護事業所との連携をすすめ、地域に貢献し信頼される事業活動を展開しました。

3. 地域包括ケアを担う人づくり

(1) 職員の育成

- ① カスタマーハラスメント研修会やコミュニケーション研修会を実施しました。
- ② 民医連の研修会や通信教育を活用し、医療生協・民医連の職員としての能力・資質の向上を図りました。
- ③ 職員のスキルアップを図るため、eラーニング（インターネットを利用した学習）の活用も含め事業所単位で学習会や研修会等を実施しました。

(2) 人材確保

職員人材を確保するためハローワークや民間紹介業者への求人登録、ろっぽう通信やホームページでの求人掲載などを行いました。

4. くらしと平和を守る活動

- (1) 社会保障充実、大軍拡反対、介護保険制度の抜本的改善、現行健康保険証の存続、医療機関維持存続などを求めるの署名に取り組みました。
- (2) 原水爆禁止国民平和大行進に参加し、核兵器のない平和な世界の実現を呼びかけました。朝来支部は、千羽鶴を作り広島に届けました。
- (3) 地域医療をまもる但馬の会の事務局を務め、日高クリニック入院再開早期実現を求める署名運動、但馬圏域医療構想の問題等に対する取り組みをすすめました。

【2026 年度の運動方針】

持続可能な組織基盤を整え、誰もが健康で安心して住みつづけられるまちづくりをすすめます

1. 健康で安心して暮らせる地域づくりをすすめます

(1) 組合員活動の促進

- ① たじま医療生協の将来像を見据え、全支部が目標を掲げて組織4課題に取り組みます。
- ② 多世代が参加するような取り組みを行い、次世代につなげます。
- ③ 但馬全域で支部・班活動を活性化し、事業利用につなげ、医療生協運動をすすめます。
- ④ 「なんなっと」は発足10年目を迎え、支援者を増やして若返りを図り、支部等と連携して利用地域の拡大を図ります。喫茶を継続し、通院者・地域組合員等に憩いの場を提供します。

(2) 健康づくりの推進

- ① 「健康チャレンジ」「ひょうごまるごと健康チャレンジ」に継続的に取り組み、参加者の増加を目指します。
- ② 認知症予防のための脳トレ学習会を支部で開催し、高齢者の健康維持を支援します。
- ③ 「まちかど健康チェック」を定期的で開催し、地域住民の健康状態の確認と健康意識の向上につなげます。
- ④ 健康まつりを地域住民が参加しやすい形で開催し、健康づくりの推進と地域交流の活性化を図ります。
- ⑤ 医療・福祉施策の充実を図るため、行政への要望書の提出、懇談の実施を継続します。

(3) 施設整備

診療所、介護事業所および組合員のつどいの場等の施設整備については、医療・介護事業の中長期計画を策定し、それに基づいて検討します。

2. 医療と介護の事業基盤を整え持続可能な事業活動をすすめます

(1) ろっぽう診療所

- ① ろっぽう診療所は、診療所開設 30 周年を迎えます。家庭医機能を強化するとともに、後継所長医師をはじめとするスタッフ確保を図り、安定した診療体制を整えます。
- ② 2026 年度から家庭医療専攻医の研修受け入れを開始し、地域医療を担う次世代の人材を育成し、医療の充実を図ります。
- ③ 待ち時間短縮のため予約枠の在り方を再検討するとともに、予防接種・健康診断の広報活動の推進を図ります。

(2) 介護事業所

職員のスキルアップを図るとともに、利用者や家族の要望等を的確に把握し、当事者に寄り添った看護、介護、リハビリの提供をすすめます。

(3) 経営改善の推進

介護事業所の人材確保を強化するとともに、ICTの活用や訪問体制の見直しをすすめ、業務の効率化を図りながら、経営改善に取り組みます。

(4) 連携の推進

- ① 医療と介護の両面で健康と暮らしを支えることのできる総合力をより発揮させるため、診療所・介護事業所相互の業務連携を強化します。
- ② 行政、社会福祉協議会、他の医療機関・介護事業所などと連携し、地域の要望に応える事業活動を展開します。

3. 地域を支える人を育てます

(1) 職場環境の改善

ハラスメント防止やコミュニケーション向上のための研修会を開催し、職員が安心して働ける職場づくりをすすめます。

(2) 人材の育成

- ① 医療生協・民医連の職員としての能力・資質の向上を図るため、職員育成指針に基づき各種制度教育や研修をすすめます。
- ② 職員が組合員との共同のいとなみを通して成長していける機会の創出をすすめます。
- ③ 高校生 1 日医師体験の受け入れをすすめるとともに、地域医療研修、家庭医の教育診療所としての体制等を整えます。
- ④ 全国の取り組みを事業や活動に活かすため、情報誌「こもこもこも」(医療福祉生協連)、「いつでも元気」(民医連)の購読を推進します。

4. 暮らしと平和を守る活動をすすめます

(1) 社会保障の充実

- ① 組合員や地域住民の暮らしを守るため社会保障の充実、脱原発、被災者支援の活動をすすめます。
- ② 地域医療をまもる但馬の会の事務局を担い、地域医療構想実施反対等の取り組みをすすめます。

(2) 平和を守る活動

憲法改悪を許さない署名や学習会、核兵器を廃絶し平和な社会をつくる運動に取り組みます。

(3) 環境問題への取り組み

気候変動やエネルギー問題などの課題に対し、SDGs (持続可能な開発目標) の視点を取り入れた取り組みをすすめます。